

米子水鳥公園の歴史(1995年～2021年)

平成 7 年 10 月	米子水鳥公園オープン
平成 8 年 7 月	手作り郷土賞(環境省)、残したい日本の音風景百選(建設省)受賞。
平成 11 年 5 月	東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワークに加入
平成 11 年 6 月	観察小屋の脇にオランダ式デコイ(主にカモ類を捕獲するための罟)を設置
平成 12 年 10 月	鳥取県西部地震発生。米子水鳥公園の施設に大きな被害を受け、平成 12 年末日まで休園。ネイチャーセンターは平成 13 年 10 月まで休館。その間、野外学習広場にプレハブ小屋二棟を仮設し、事務所と観察小屋として使用。 地盤沈下に伴い、ネイチャーセンター玄関前スロープを延長。観察ホールの風通しをよくするため、観察ホールと展望ホールの窓の一部を開閉可能に改修。
平成 13 年 5 月	屋外倉庫前のヨシ原の一部を刈り払い、マガ池を掘り始める(以後、継続)
平成 13 年 11 月	ネイチャーセンターの再オープンに伴い、プレハブの観察小屋を撤収。仮設事務所に使用していたプレハブ小屋は存続し、木材加工室と鳥類標識調査室として二次利用。
平成 14 年 1 月	夏季の観察ホールの猛暑対策として、窓にロールカーテンを設置。(鳥取銀行：青い鳥基金)
平成 14 年 9 月	トンボ池を改修し、愛称を「水辺のわくわく楽校」に決定
平成 17 年 10 月	開園 10 周年
平成 17 年 11 月	中海の一部としてラムサール条約登録湿地となる
平成 18 年 5 月	視聴覚室の映像の自動上映システム導入
平成 19 年 4 月	散策路沿いに設置してある石柱の野鳥案内板をハンズ・オン解説板に改修。
平成 19 年 3 月	散策路の傍らにラムサール条約登録湿地看板を設置(環境省)
平成 20 年 1 月	観察ホールにキッズコーナーを新設
平成 21 年 4 月	つばさ池の浅瀬復元のため砂を搬入(9月まで)
平成 21 年 4 月	展示室に剥製展示用のショーケース設置
平成 21 年 6 月	展示室の照明を人感センサータイプに交換
平成 21 年 8 月	米子市の「がいなよなご応援基金」(ふるさと納税の積立基金)により大型液晶テレビモニター2台導入
平成 21 年 9 月	観察ホールに 60cm 水槽 6 台分の水槽台新設
平成 21 年 10 月	つばさ池の水質浄化対策のため、つばさ池の水をくみ上げてハイビーズを通してヨシ原へ放水する設備を設置(米子市)

平成 22 年 4 月	野外学習広場に芝生を張る
平成 22 年 6 月	アロサウルスの化石を展示するため、観察ホールのパソコンコーナー、書棚を移動。
平成 22 年 10 月	彦名干拓地暫定水源池を撤去。それに伴い、園内散策路の一部を暫定駐車場として利用。
平成 22 年 12 月	中海周辺で高病原性鳥インフルエンザ発生。正門に消毒マットを設置し、水鳥観察棧橋閉鎖など、ウィルスの感染拡大防止策を実施。
平成 23 年 1 月	大晦日からの記録的な大雪により、元旦から 4 日まで停電。臨時開館を中止し、5 日から開館。
平成 23 年 11 月	彦名干拓地暫定水源池跡地の一部に駐車場を新設 (正門横駐車場)
平成 24 年 2 月	米子市の「がいなよなご応援基金」により、 ネイチャーセンター展望ホールを個室化してエアコンを設置
平成 24 年 10 月	つばさ池排水口を改修工事
平成 25 年 3 月	ニッポン高度紙工業株式会社からの寄付により、10 分映像「水鳥のサンクチュアリ 米子水鳥公園」を製作 ボランティア室前トイレに洗浄便座を設置・前浜進入ゲート改修工事
平成 25 年 5 月	第 64 回全国植樹祭に伴い、天皇・皇后両陛下がご訪問。平井鳥取県知事がネイチャーセンターで両陛下に県勢についてご説明。
平成 25 年 7 月	米子市の「がいなよなご応援基金」により、「なかうみ環境学習事業」(米子市内の小学校を対象とした、米子水鳥公園に行くためのバスの借上料の助成制度)開始。
平成 26 年 12 月	米子水鳥公園とその周辺が米子市環境美化推進区域に指定される
平成 27 年 6 月	ネイチャーセンター屋根葺き材の修繕工事实施(9 月まで)
平成 27 年 8 月	展示ホール壁面展示を改修。大型液晶モニター設置 (米子南ロータリークラブ創立 30 周年記念事業)
平成 27 年 10 月	開園 20 周年 ネイチャーセンター横にモチノキ植樹(米子地区環境問題を考える企業懇話会創立 20 周年記念) 天皇皇后両陛下が 2013 年の植樹祭で御手蒔きになったヤマザクラの苗を行幸啓記念碑の近くに植樹
平成 28 年 2 月	鳥取県がネイチャーセンターに Wi-Fi(とっとり BB)を設置
平成 28 年 8 月	県道 47 号線沿いの案内看板を修繕(米子市) 第 1 駐車場のトイレを撤去(米子市)
平成 28 年 11 月	16 日～26 日にかけて、中海周辺を巨大な飛行船が航行し、安来平野で採食中のコハクチョウが続々と園内に飛来。今季の

最多羽数を記録

園内で死亡および衰弱していたコハクチョウ各 1 羽から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出され、米子水鳥公園から半径 10km が野鳥監視重点区域に指定される(25 日から平成 29 年 1 月 4 日 24 時まで)

平成 29 年 3 月

外国人観光客に対応するため、英語のパンフレットを製作。また、10 分映像に広東語・北京語・ロシア語の字幕、13 分映像に韓国語の字幕をつける。

平成 29 年 6 月

視聴覚室のエアコンを修繕

平成 30 年 4 月

野鳥保護区内への侵入者の増加に伴い、保護区入口のバリケードを強化。

平成 30 年 5 月

園内の管理作業用の軽トラックを更新(米子市)

令和 2 年 3 月

ネイチャーセンター正面玄関の対面に園内の案内看板を新設
第 1 駐車場および正門の案内看板を更新

令和 2 年 10 月

米子水鳥公園の電気を再生可能エネルギーで発電した CO₂ 排出量ゼロの電力 (RE100 電気) に変更(以後 5 年間 : 写真 189)



写真 189 RE100 電気の啓発パネル